

保 発 1120 第 7 号  
平成 30 年 11 月 20 日

都道府県知事 殿

厚生労働省保険局長  
(公 印 省 略)

国民健康保険法施行規則第五条の五第十二号の規定に基づき厚生労働大臣が定める医療に関する給付の一部を改正する件の告示について

国民健康保険法施行規則第五条の五第十二号の規定に基づき厚生労働大臣が定める医療に関する給付の一部を改正する件（平成 30 年 11 月 20 日厚生労働省告示第 394 号）については本日告示され、平成 30 年 12 月 1 日から適用されるところです。改正の趣旨及び内容は下記のとおりですので、御了知の上、貴都道府県内の市町村（特別区を含む。）、国民健康保険組合及び後期高齢者医療広域連合への周知徹底を図るとともに、施行に向けて十分にご留意くださいますよう、お願いいたします。

## 記

### 第 1 改正の趣旨

B 型肝炎ウイルス又は C 型肝炎ウイルスによる肝がん・重度肝硬変の患者のうち、一定の要件を満たす者に対して行われる入院医療に係る医療費の支給について、平成 30 年 12 月診療分から、公費負担医療として位置づけることに伴い、当該公費負担医療を受けた被保険者に対し、被保険者資格証明書を交付しないようにするための所要の改正を行うもの。

### 第 2 改正の内容

法第 9 条第 3 項に規定する原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律による一般疾病医療費の支給その他厚生労働省令で定める医療に関する給付として「平成 30 年 6 月 27 日健発 0627 第 1 号厚生労働省健康局長通知「肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業について」による医療費の支給」を新たに規定するもの。

### 第 3 適用期日

平成 30 年 12 月 1 日